

●がん患者等への支援（がん患者等支援部会）

①相談支援及び情報提供

めざす姿	<p>■最終目標 すべてのがん患者やその家族が、不安や悩み、疑問に対して、いつでも身近なところで、必要な情報を受け取ることができ、その悩みや疑問が軽減している。</p> <p>■中間目標 がん患者やその家族に必要な情報が届き、質の高い相談支援が受けられる体制が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> 相談支援機能の強化 患者目線での情報提供の充実
令和2年度実績	<p>新型コロナウイルス感染症対応によるBCPにより部会中止</p>
	<ol style="list-style-type: none"> がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC）（BCPにより中止） 拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施（BCPにより中止） がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> イベント（リフォーライヴ@パノ奈良）会場での情報発信（BCPにより中止） 入浴着の着用に関するチラシを作成し関係機関へ配布（R3.3月）（別紙1） ライフステージ等に応じた相談体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> がん相談支援センター・保健所相談員等研修会の実施 小児がん患者の家族等交流会（BCPにより中止） がんピアサポート支援活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> がんピアサポーターフォローアップ研修の実施（BCPにより中止） 日本サイコオンコロジー学会の都道府県向け情報提供パンフレットに記事掲載（別紙2）
令和3年度計画（案）	<ol style="list-style-type: none"> がん患者・家族への相談支援事業 <ul style="list-style-type: none"> 保健所における患者サロン等の実施（2回×3HC） 拠点病院等のがん患者サロン運営者会議の実施 がん患者・家族への情報提供事業 <ul style="list-style-type: none"> イベント（リフォーライヴ@パノ奈良）会場での情報発信 ライフステージ等に応じた相談体制整備事業 <ul style="list-style-type: none"> がん専門相談員のAYA世代・妊孕性等をテーマとした研修会の実施 小児がん患者の家族等交流会 がんピアサポート支援活性化事業 <ul style="list-style-type: none"> がんピアサポーターフォローアップ研修の実施

第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

■ 基準値と比較して改善していない ■ 新型コロナウイルス感染症対応のBCPにより中止したもの
■ 基準値と比較して改善している

3. がん患者等への支援 (1) 相談支援及び情報提供

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H0年度	R元年度	R2年度	目標値	出典
分野	目標							
3 がん患者等への支援								
(1) 相談支援及び情報提供								
最終目標	がん患者の不安や悩みが軽減されている	がんと診断したことによる心配や悩みは何らかの支援によって現在は軽減した	38.4% (H2)	-	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
	がん患者の不安や悩みの発生が抑えられている	からだや治療のことでの心配になったとき、担当医以外にも相談できるところがある	32.3% (H2)	-	-	-	増加	
中間評価	がんに関する情報が得やすい体制ができています	がんに関する情報	29.4%					
		がんの治療方法についての情報が不十分	22.3%					
		病院の診療体制や治療状況についての情報が不十分	37.0%					
		緩和ケアについての情報が不十分	43.7%					
		がん治療にかかる費用についての情報が不十分	44.4%					
がん患者やその家族等が、質の高い相談支援が受けられる体制ができています	がん相談支援センターを利用して、相談が役に立った	100% (H2)	98.9% (H0)	98.8% (H0)	調査中 (R)	現状維持	がん相談支援センター利用状況調査	
施策目標	相談支援機能の強化	がん相談支援センターの利用者数(9病院)	5,280件 (H2)	6,407人 (H0)	7,084人 (H0)	7,358人 (R)	増加	奈良県調べ
		相談支援センターの認知度	51.8% (H2)	-	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		国立がん研究センター研修【指導者研修】を受けた相談員数	12人 (H2)	研修会の実施なし	受講なし	受講なし	増加	奈良県調べ
		県内相談員対象の研修会の開催回数	1回 (H2)	1回 (H0)	開催中止 (R)	1回 (R)	実施継続	奈良県大調べ
		がん患者サロンの利用者数	891人 (H2)	760人 (H0)	887人 (H0)	757人 (R)	増加	奈良県調べ
		がん患者サロンの認知度	50.2% (H2)	-	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査
		がん患者サロン運営会議の開催回数(各拠点病院)	8回 (H2)	7回 (H0)	6回 (H0)	9回 (R)	実施継続	
		がん患者サロン運営者会議の開催回数	2回 (H2)	1回 (H0)	1回 (R)	-	実施継続	奈良県調べ
		ピア・サポーター養成数	48人 (~H2)	-	17人(85人) (R)	-	増加	
		患者目線での情報提供の充実	「がんネットなら」の認知度	11.3% (H2)	-	-	-	増加
	「がんネットなら」のページビュー数	69,241件 (H2)	60,721件 (H0)	65,061件 (H0)	87,227件 (R)	増加	奈良県調べ	

②がん患者の就労を含めた社会的な問題

めざす姿	<p>■最終目標 がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減され、働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる。</p> <p>■中間目標 県民や事業者のがんやがん患者に対する理解や支援が進んでいる。</p>
個別施策	<ul style="list-style-type: none"> がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実 がん患者の治療と仕事の両立体制の整備 就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実
令和2年度取組	<p>新型コロナウイルス感染症対応によるBCPにより部会中止</p> <p>1. がん患者への就労相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について） 就労支援関係者の情報交換会の実施 奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業での「がんネットなら」での好事例の掲載 →未実施 <p>2. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組</p> <p>○奈良労働局</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期療養者就職支援事業 （ハローワーク大和高田、奈良県立医科大学附属病院出張相談） （ハローワーク奈良、奈良県総合医療センター出張相談） 治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知 <p>○奈良産業保健総合支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援 事業主や産業保健関係者向け研修会の実施 両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援
令和3年度計画（案）	<p>1. がん患者への就労相談支援事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者向け研修会での周知（奈良県のがん対策、就労支援の取組について） 就労支援関係者の情報交換会の実施 労働時報（雇用政策課所管）での情報提供 奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業での「がんネットなら」での好事例の掲載 <p>2. 国によるがん患者等への就職支援、両立支援への取組</p> <p>○奈良労働局</p> <ul style="list-style-type: none"> 長期療養者就職支援事業 ハローワーク大和高田；奈良県立医科大学附属病院出張相談 ハローワーク奈良；奈良県総合医療センター出張相談 治療と仕事の両立支援に関するガイドラインの周知 <p>○奈良産業保健総合支援センター</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者や患者（労働者）からの両立支援に関する相談及び個別調整支援 事業主や産業保健関係者向け研修会の実施 両立支援対策の普及促進のための個別訪問支援

第3期奈良県がん対策推進計画 目標の進捗状況について

■ 基準値と比較して改善していない ■ 新型コロナウイルス感染症対応のBCPにより中止したもの
■ 基準値と比較して改善している

3. がん患者等への支援
(2)がん患者の就労を含めた社会的な問題

分野別目標		指標	現状値 (基準値)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値	出典	
分野	目標								
3 がん患者等への支援									
(2)がん患者の就労を含めた社会的な問題									
最終目標	がん患者やその家族が抱える仕事と治療の両立についての不安が軽減されている	がんの治療を受けながら、働き続けられる環境だと思う	29.1% (H29)	-	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
	がん患者が働くことが可能で、働く意欲のあるがん患者は安心して働くことができる	がんが診断され、検査や治療が進む中、仕事の継続に対する事業主の理解・支援が受けられた	78.9% (H29)	-	-	-	増加		
中間評価	事業所と医療機関、県、国(労働局等)の有機的な連携が一層進んでいる	仕事と治療の両立支援体制のある事業所の割合	75.2% (H28)	-	-	正規 59.2% 非正規 35.2% (R1)	増加	職場環境調査	
	がん患者に仕事と治療の両立についての必要な情報を提供できている	がんを初めて治療・療養したとき、一定期間(連続して1カ月以上)仕事を休み、復職、復帰した	37.6% (H29)	-	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
施策目標	がん患者の治療と仕事の両立等の相談支援体制の充実	就労相談の実施回数、利用者数	27回/40人 (H28)	32回/42人 (H29)	27回/50人 (H30)	25回/45人 (R1)	増加	奈良県調べ	
		情報交換会の実施回数	1回 (H29)	未実施	開催中止 (R1)	-	継続実施		
		医療従事者の研修会実施回数(拠点病院で実施)	1回 (H28)	2回 (H29)	1回 (H30)	1回 (R1)	増加		
		リーフレットの配布部数(就労支援相談窓口)	-	7,000部作成 (H30)	6,000部配布 (R1)	5,000部配布 (R2)	増加		
		就労相談窓口の認知度	10.8% (H29)	-	-	-	増加	ならのがんに関する患者意識調査	
		就職相談窓口の認知度	7.4% (H29)	-	-	-	増加		
		就労相談の実施回数、利用者数	27回/30人 (H28)	52回/44人 (H29)	52回/42人 (H30)	47回/43人 (R1)	増加	奈良県調べ	
		がん患者の治療と仕事の両立支援体制の整備	職場環境調査の実施結果の公表	H29、H28公表済み	-	R1調査公表済み	-	実施、公表	-
		就労を含めた社会的な問題等の情報提供の充実	「奈良県社員・シャイン職場づくり推進事業」のがん治療と仕事の両立支援企業登録数	3件 (H28)	6件 (H30)	6件 (R1)	5件 (R2)	増加	奈良県調べ
		情報発信した好事例の企業数	-	未実施	未実施	未実施	増加		